

組織名称	経済部
補職名・氏名	部長 河地孝彦

令和7年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標			達成度
目標	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
目標1 セラミック・レ構想の推進及び中小企業支援による地域経済の活性化 美濃焼産業の振興及び経済対策の実施、中小企業や起業支援による地域経済の活性化	1. MINOステイブルセラミックプロジェクトの推進、陶芸スタジオ整備 2. セラミック・レ構想の推進 3. 美濃焼産業の振興 ①中国陶産地との交流による中国への販路拡大 ②中国での「美濃焼」商標権取得に向けた取組の支援 ③セラミック・レ振興補助金・美濃焼タイル施工補助金の運用 ④全国やさきもの甲子園の開催 4. 中小企業支援 ①関税・燃料高騰・海外販路拡張の支援 ②ふるさと納税(目標7億)による地域産業振興支援 ③「き」業展・企業お見合い・タグコンの開催 ④新事業突破チャレンジ、事業継承、副業人財活用への支援 ⑤商工会議所や金融機関等と連携した起業創業支援	1. 委員会(毎月)、業者ヒアリング実施、現況調査・事業計画策定、組織形態の検討、組織化準備、スタジオ候補物件選定、運営チーム・要綱案策定、篤志家との協議継続 2. トークイベント(11月)、CCC開催(3月) 3. ①景徳鎮来日(6月)、訪問(10月) ②商標無効申請(9月) ③振興補助審査会(2月)、タイル施工補助22件 ④個人154件、団体27件の応募、表彰式(2月) 4. ①海外バリエーション招聘、ガス高騰支援(64件)、燃料費高騰支援(37件) ②Yahoo!仕事開始(8月)、商品開発7件、意見交換会/説明会開催、上半期1位事業者感謝状贈呈、寄付額3.5億円(12月末) ③き業展(1月)、企業お見合い(商談265件)、タグコン(13組) ④突破5者(8月)、承継相談会(5月)、副業3者 ⑤BI・各種補助制度を再構築し、国庫補助活用による新BI整備の方針決定	T2
目標2 中心市街地の活性化及び観光誘客事業の推進 関係機関と連携した中心市街地・駅周辺エリアの活性化及び観光資源・アトラクション等の活用した回遊促進、インバウンドの推進	1. 駅周辺エリアの賑わい創出事業の実施 ①プティ多治見のリンク支援、集客イベントの開催 ②既存店舗の集客向上支援 2. 中心市街地活性化促進 ①たじみDMOと連携した中心市街地活性化事業の実施 ②ビジネスプラットフォームによる中心市街地への出店促進 3. インバウンド事業の実施 ①民泊等宿泊事業への支援 ②旅行商品の造成、オンライン・トラベル・エージェントへの観光情報掲載、TIPガイドの運用による観光客受入れ支援 ③名鉄Co-machiプロジェクトへの参加、広域連携(瀬戸市等) 4. 回遊促進事業、「やくも」を活用した事業の実施 5. 観光PR事業・主要イベントの実施	1. ①リンク会議による情報共有(毎月)、テナト会議(9月) ②わいわいkids広場開催(7月・12月)、こどもつちパーク夏季割引の事業者調整 2. ①②中心市街地活性化協議会開催(2月)、タグコン関係の出店者にとじみDMOと協議、物件紹介(随時) 3. ①5者整備、運営支援(随時) ②GoogleMap情報掲載アクセス解析21件、TIPガイド活用(20件)、ガイド研修会開催、富裕層向け商品の造成支援 ③プロジェクト会議参加、タ商談会、台湾向け動画制作の調整支援 4. JRさわやかウォーキング(4月) スタンプラリー(10月～)、2番劇劇場版試写会・上映(10月)、県庁ギャラリーでの展示(3,564人来場) 5. 陶器まつり(春秋)、美濃焼祭(10月)、多治見まつり・花火大会(11月)、万博(5月)、ツリスムEXPO出展(9月)	T3
目標3 次期テクノパーク開発の調査研究及び企業誘致事業 新たなテクノパークの開発・将来の候補地の研究及び優良企業の誘致、進出企業へのアフターフォロー	1. テクノパークの開発及び企業誘致 ①森下テクノパーク開発事業の実施、企業立地協定の締結、誘致企業との協議 ②開発候補地の課題整理、関係機関との協議 ③第1期高田テクノパークへの進出企業の誘致 ④第1期高田テクノパーク使用に関するJR東海との協議、土地開発公社等関係部署との管理協議、地元自治会との連絡調整を実施 2. 進出企業へのアフターフォロー ①アフターフォローによる地域交流の実施、地域貢献事業への支援 ②進出企業等のニーズに対する新たな活動提案	1. ①土壌汚染対応を適正実施し工事完了(3月)、企業立地協定締結(6月)、進出企業の使用形態を確認し随時協議 ②調査費の県補助獲得し可能性調査を実施、課題抽出・整備方針決定(2月)、関係課と連携し都市公園法に係る県協議、市内企業事業拡張に伴う候補地の課題整理(3件)、市税増収PIで商業用途向け土地を12箇所選定(11月) ③自動車関連産業を中心に誘致活動 ④総務課と連携し用地使用に関する協議(随時)、現場確認、土砂流出復旧作業等の適正管理(9月)。 2. ①青空マーケット(4回)、一斉清掃(6月)、草刈支援(3回)、高校職業体験(8月)、社会科見学(12月)への支援 ②夏まつりアース出店、高校生採用支援、技術スキルコンテストアース出店、企業立地促進条例改正(3月)	T2
目標4 有害鳥獣対策の強化、森林保全・農業振興の推進 農地等の有害鳥獣被害防止、森林環境譲与税を活用した森林保全事業の実施及び農業振興	1. 有害鳥獣捕獲対策の強化 ①イノシシ捕獲用箱なわの増強、猟友会との連携の強化 ②地域・地元住民による防護体制の維持支援 2. 森林環境譲与税の活用による森林保全 ①境界明確化、間伐の実施、林地台帳の整備 ②危険木伐採制度の策定 3. 農業振興 ①農業振興地域整備計画改訂にかかる基礎調査の実施 ②農業祭の開催、農産物直売所への支援、地元農産物の学校給食メニュー採用による地産地消の推進 4. 農業委員会の適切な運営、委員改選準備、遊休農地対策の実施、農地パトロールの実施	1. ①通報や調査結果を踏まえて増設分10基設置(9月)、236頭(対前年10頭増)の捕獲 ②電気柵4件、防護柵5件を補助、イノシシ対策として木酢液を案内(20件) 2. ①台帳整備・意向調査(前期)、境界明確化・間伐(後期)完了、官庁造林解除地での整備方針の決定 ②危険木伐採補助制度導入の方針決定、要綱策定 3. ①アンケート調査(回収率62%)実施 ②農業祭開催(11月 800人来場)、R9年度から文化会館での開催を決定、給食メニュー採用(21回 対前年6回増)、物価高騰対策支援(11件) 4. 農業委員会(12回、許可・届出108件)、農地パトロール実施(9～10月)	T3
目標5 国際交流の推進、陶磁器の次世代を担う人材の育成及び各種支援 国際交流の拡大、人材育成・卒業生の定住支援及び幅広いデザイン支援、技術支援の実施	1. 国際交流の推進 ①IAC国際陶芸学会総会の開催可能性の調査・検討 ②国際陶磁器フェスティバルと連携した国際交流の推進 2. 人材育成及び修了生の定住支援 ①継続的な人材育成にかかる中長期ビジョンの策定 ②美術館等と連携したishoken展の開催に向けた調査 ③修了生雇用・定住促進奨励金、修了生創作活動支援補助金の運用による修了生の定住促進 3. 3Dプリンター・スキャナ等を活用したデザイン支援 ①市内陶磁器・タイル関連企業等との連携による新商品開発に向けたデザイン試作支援 ②3Dモデリングによる技術相談、説明会等の実施	1. ①2030年IAC総会の多治見市開催決定 ②フェスティバル運営委員会、コンパ作業部会等各部会に参画、海外から視察受入(13カ国(韓国、台湾、中国、オーストラリア等 計104人))、UAE奨学金制度創設の折衝 2. ①陶磁器業界へ意見聴取し、中長期ビジョン(ラボ強化・国際交流の推進)を策定 ②現代陶芸美術館と協議し、R8年度実施(共催)を決定 ③雇用・定住促進奨励金交付2件、認定4件、創作活動支援補助金運用1件、予定2件、工房バンク合計26件(69部屋中66部屋利用)、修了生作品販売スペース設置方針決定 3. ①事業者と協議し、修了生との協業によるふるさと納税返礼品開発企画の開始 ②新規3Dプリンター説明会、3DCAD講習会1回	T2

令和7年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

Table with 4 columns: 目標 (Target), 実施する業務の内容 (Business Content to be Implemented), 成果 (評価時に記入) (Results (to be entered at evaluation)), 達成度 (Degree of Achievement). Rows include targets for 'セラミックバレー構想の推進', '経済対策、地域産業の活性化', '中心市街地の活性化', '観光誘客事業の推進', and '適性な事務の執行'.

令和7年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標				
標題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	達成度	
目標1	<p><b>有害鳥獣対策等の推進</b></p> <p>農業者や農地に対する有害鳥獣被害防止の推進と鳥インフルエンザ防疫体制の確保</p>	<p>1. 有害鳥獣捕獲対策の強化</p> <p>①住民からの苦情が急増している猪捕獲のため檻（箱わな）を10基増やして対策強化</p> <p>②県、猟友会との情報共有や連絡調整を強化し有効的な捕獲対策の強化</p> <p>③アライグマ・ヌートリア等を含めた有害鳥獣の一体的運用による対策強化</p> <p>2. 地域・地元住民による防護体制の維持支援</p> <p>①防護柵設置費補助金、鳥獣被害防止総合対策交付金（再生協議会）による農地の防護柵設置</p> <p>②木酢液等を使用した猪対策の周知</p> <p>3. 鳥インフルエンザ対策（緊急防疫体制の確保）</p>	<p>1. ①市民からの通報や調査結果を踏まえて10基設置完了。1年間で昨年度を10頭上回る236頭の捕獲</p> <p>②猟友会と相談の上、1ヶ所檻の移設を実施</p> <p>③有害鳥獣全般が農林課となったことを踏まえて、捕獲努力をした結果、アライグマ28頭・ヌートリア4匹の捕獲。また、捕獲檻の貸出を22件行って対策に取り組んだ</p> <p>2. ①補助金を活用して電気柵4件、防護柵5件の補助を実施。</p> <p>②イノシシ対策の問い合わせに対して木酢液を20件案内</p> <p>3. 11月に体制を対策本部会議で依頼済み</p>	T3
目標2	<p><b>森林経営管理制度推進等による森林保全</b></p> <p>森林環境譲与税を活用した森林経営管理制度の推進</p>	<p>1. 森林環境譲与税の有効活用</p> <p>①森林経営管理制度の推進、境界明確化の実施（廿原町、諏訪町、三の倉町）、間伐、除伐の実施（廿原町、林地台帳地区の整備（大針、北小木町）、意向調査の実施（月見町、富士見町）</p> <p>②住民生活に支障のある危険木の伐採制度の研究・方針決定</p> <p>③木材を活用した笠原小中学校の廊下の木質化</p> <p>2. 官行造林解除と補償額の決定</p> <p>①森林経営計画制度を策定し解除地の管理を実施</p> <p>②官行造林の補償対象箇所及び補償額の決定</p> <p>③東濃森林管理署との連絡調整</p>	<p>1. ①台帳は大針町などで1,920件を整備、意向調査は富士見町などで68人・108筆で実施、境界明確化は三の倉地区で6.9ha・27筆で実施、間伐は廿原地区の3haで実施し完了。</p> <p>②危険木伐採補助制度導入を方針決定し、要綱を策定</p> <p>③1月末事業完了</p> <p>2. ①官行造林の解除済み。代金も支払い済み</p> <p>②東濃営林管理署と協議し令和8年度分の決定済</p> <p>③東濃森林管理署と7回やり取りを実施</p> <p>④森林経営計画を活用した市有林整備について、官行造林解除地で整備方針を提案し方針決定。令和8年4月1日契約締結予定</p>	T2
目標3	<p><b>農業振興地域における農業振興と農地保全</b></p> <p>農業の担い手確保及び農業振興地域整備計画の改定</p>	<p>1. 「農業振興地域整備計画」の改訂</p> <p>①R7～8の2年継続で計画改定</p> <p>②R7で業者決定し基礎調査の実施</p> <p>③基礎調査の項目の精査</p> <p>2. 物価高騰対策による農業者支援の実施</p> <p>3. 地産地消の推進</p> <p>①農業祭の開催、今年度開催場所の選定、来年度以降の開催場所の選定</p> <p>②地元農産物の学校給食メニューでの採用</p> <p>③農産物直売所支援</p>	<p>1. ①5月に業務発注済み</p> <p>②基礎調査のため300人にアンケートの実施回答率62.3%の高返却率</p> <p>③整備計画の改訂に向けた基礎調査データの作成</p> <p>2. 物価高騰対策で11事業者に支援の実施</p> <p>3. ①11月29日実施。約800人来場。来年度は同会場で、それ以降は文化会館で実施決定</p> <p>②米・苺など7品種21回(昨年度より6回増)の実施</p> <p>③直売所と9回協議し、現位置で引続き継続決定。営業時間の変更、生産者の経費率引上げなど対策の実施決定</p>	T2
目標4	<p><b>農業委員会制度の推進</b></p> <p>農業委員会の円滑な業務の推進</p>	<p>①農業委員改選に向けた準備（改選R8.6月議会）</p> <p>②農地パトロールでのタブレット端末の活用推進</p> <p>③総会及び農地法の権利移転許可等の適正な運用（通年）</p> <p>④農地の違反転用の是正、非農地判断等の実施</p> <p>⑤農業委員による農地利用最適化活動（遊休農地の発生防止・解消など3項目）の推進</p> <p>⑥農地中間管理機構を通じた農地の集積・集約の推進</p> <p>⑦農業委員への研修会等の実施</p>	<p>①3月に選考委員会で候補者の決定済</p> <p>②農地パトロール実施前に使用研修会を開催（9月）</p> <p>③総会12回実施。3条許可12件、取消1件、（相続）65件、4条届12件、5条届25件、許可16件処理</p> <p>④違反転用物件4件の報告内2件指導。非農地判断は0件農地台帳非登録確認8件の処理</p> <p>⑤農業者からの相談対応及び農地パトロールを9月～11月に実施済</p> <p>⑥R7中間管理事業更新1件の地権者及び賃借人の連絡調整を実施。来年度更新分(72件215筆)も調査を開始2月に地権者への更新意向調査実施</p> <p>⑦タブレット研修を9月に実施、全体研修を12月と1月にはほぼ全員参加で実施</p>	T3
目標5	<p><b>本庁舎移転を見据えた農林関係業務のDX化の推進</b></p> <p>農林関係業務の効率化及び経費の削減</p>	<p>①事業毎の申請書類の把握と整理</p> <p>②事業毎の申請者数の把握と推移</p> <p>③eMAFF（農林水産省共通申請サービス）の導入を踏まえた農林関係電子申請方法の調査研究</p> <p>④LOGOフォームを活用した電子申請の可能性調査</p>	<p>①他市の取組状況を調査し、当課の問題点を洗い出しを行った</p> <p>②他市の取組状況を調査し、申請種類と申請件数を把握済</p> <p>③eMAFFサービス終了情報入手と新しいサービス移行について引き続きの情報収集</p> <p>④eMAFFサービス終了に伴い新しいサービスで実施するものを把握して残りをLOGOフォームで実施できるか引続き国の動向を見た上で判断</p>	T3

令和7年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標			達成度
標 題	実施する業務の内容	成 果（評定時に記入）	
目標1	<p>テクノパークの開発及び次期候補地の調査</p> <p>1 森下テクノパークの開発</p> <p>①誘致企業との土地売買契約締結（6月）</p> <p>②企業立地協定の締結（6月）</p> <p>③造成工事の適正実施（汚染土処分含む、随時）</p> <p>④誘致企業との円滑な協議（随時）</p> <p>2 開発候補地の調査</p> <p>①優先候補地の課題を整理（都市政策課と連携）し、岐阜県と協議（通年）</p> <p>②優先候補地の可能性調査実施（10月）</p> <p>③中長期的な開発候補地の研究（通年）</p>	<p>1 ①誘致企業との調整後契約書案を作成（6月）。土壤汚染対策の目途が立ち契約締結（12月）。</p> <p>②企業立地協定式を開催し協定締結（6月）。</p> <p>③土壤汚染対応を含め適正に造成工事完了（3月）。</p> <p>④造成地への進出形態を随時協議しながら造成工事を実施。</p> <p>2 ①都市政策課、緑化公園課と連携し岐阜県と協議。特に都市公園法について調整を実施（9月）。市内企業事業拡張に伴う候補地の課題を整理（3件）。</p> <p>②調査費の県補助を獲得し可能性調査を実施、課題抽出、整備方針決定（2月）。</p> <p>③企業立地促進条例の対象の見直し（3月）。市税増収PJで商業用途向け土地を12箇所選定（11月）。</p>	T2
目標2	<p>第1期高田テクノパークの誘致活動・適正管理と企業へのアフターフォロー</p> <p>1 第1期高田テクノパークへの誘致活動及び適正管理</p> <p>①第1期高田テクノパークへの企業誘致活動（通年）</p> <p>②JR東海との用地使用に関する協議及び適正管理（総務課と連携：通年）</p> <p>③地元との良好な関係継続のための対応（通年）</p> <p>2 誘致企業へのアフターフォロー</p> <p>①誘致企業による地域貢献活動への適切な支援（トヨタ自動車サービスセンターでの社会科見学、アマゾン多治見物流センターのキャリア教育他、通年）</p> <p>②誘致企業のニーズに応じた新たな活動提案</p> <p>③誘致企業の行政手続き等に対する支援</p>	<p>1 ①自動車関連産業を中心に誘致活動を実施。</p> <p>②総務課と連携し用地使用に関する協議を実施（3月）。現場確認や土砂流出復旧作業など適正管理を実施（9月）。</p> <p>③林道パトロール（9回）、大雨後調整池確認を実施（9回）。地元との関係強化。</p> <p>2 ①青空マーケット（4回）、一斉清掃（6月）、草刈り支援（3回）、高校生職業体験（8月）、社会科見学受入（12月）への支援を実施。</p> <p>②地域貢献活動内容の提案（なつまつりブース、技術スキルコンテストブース出店の提案・調整、高校生採用支援）。</p> <p>③笠原小中学校寄付に対する企業との調整、路線バス増便調整、工場増築事前相談にアドバイス。</p>	T2
目標3	<p>企業の相談や手続きサポート</p> <p>1 企業からの相談に対するサポート</p> <p>①市内への進出や事業拡張等への助言、関係課調整（随時）</p> <p>②工場立地法の届出支援、行政手続き支援（随時）</p> <p>③テクノパーク周辺の環境整備（随時）</p> <p>2 各種奨励金における企業サポート</p> <p>①事業所等設置奨励金の確実迅速な交付（7社8件）</p> <p>②雇用促進奨励金の周知と申請手続き支援（28人）</p> <p>③移住定住促進奨励金の周知による転入促進（1人）</p> <p>3 市有地（住居系用途地域）の活用調査研究（通年）</p>	<p>1 ①②市内企業からの相談に対応（5社）、ふるさと納税ロストボール追加の企業ヒアリング、調整。</p> <p>③テクノパーク周辺の草刈り作業を実施（3回）</p> <p>2 ①②③7社8件に事業所等設置奨励金130,888千円を交付。奨励金交付対象となりそうな企業への周知を実施し、新規申請書の提出を支援。6社21人に雇用促進奨励金を交付、併せて申請手続きを支援。</p> <p>3 市税増収PJにおいて住居系用途地域の商業系用途への変更について課題整理。</p>	T3
目標4	<p>誘致活動の体制整備と企業誘致効果のUP</p> <p>1 誘致活動の体制整備</p> <p>①事業の円滑実施のためのプロジェクト会議開催</p> <p>②岐阜県企業誘致促進協議会における営業活動</p> <p>③効果的な誘致活動のための岐阜県との情報共有</p> <p>2 企業誘致の効果をも高めるPR活動</p> <p>①PRパンフレットやホームページ等を活用した効果的な営業活動</p> <p>②誘致企業の付加価値を高める広報誌でのPR活動</p> <p>③市内雇用の拡大や市内定住につながる優遇制度の積極的な周知</p> <p>3 フロンティア・リサーチパーク区画における隣接地対応（総務課と連携）</p>	<p>1 ①企業立地促進条例改正に向けてプロジェクト会議を開催（8月）。</p> <p>②会議出席（2回、5月総会、9月連絡会議）、フードファクトリー（10月）、メッセコヤマ（11月）出展の調整。県内企業誘致用地の視察・協議会入会勧誘（8月）。</p> <p>③県の企業誘致課に届く立地希望企業情報を随時共有。</p> <p>2 ①自動車関連企業を中心にPRを実施。フードファクトリー、メッセコヤマでのパンフレット配布。</p> <p>②広報2月号で誘致企業の地域貢献活動などを特集。</p> <p>③企業訪問時に随時実施。</p> <p>3 総務課と連携し対応。</p>	T3
目標5			

令和7年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織名称	陶磁器意匠研究所
補職名・氏名	副所長 河地孝彦

組織目標兼管理職個人目標

目標	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	達成度
<b>目標1</b> より強力に「陶磁器のMINO」を世界にPRする、国際交流の強化 国際学会・陶磁器フェス等との連携と学会総会の可能性調査	①IAC国際陶芸学会総会の多治見市（東濃地域）での開催可能性の調査研究、方針決定 ②同学会を活用した意匠研究所や美濃焼の情報発信および海外の最新情報の収集と人的交流の促進 ③国際陶磁器フェス実行委員会と連携した国際交流の推進 ④海外視察団及び見学者の積極的な受入 ⑤海外陶磁器関係機関（景德鎮市、邛崃市等）との連携協力の推進	①オンライン投票の結果、2030年IAC総会の多治見市開催が決定。準備のため会計年度職員1名を増員予定。 ②IAC評議会とオンライン総会に出席し、意匠研究所や美濃焼の情報発信および海外の最新情報の収集を実施 ③運営委員会、コンパ作業部会等各部会に参画。審査員の選任、受賞者支援事業に協力、その他相談多数 ④13カ国（韓国、台湾、中国、オーストラリア、ハンガリー、イタリ、アメリカ、イギリス、スイス、シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム）計104人の海外視察・見学対応 ⑤6月景德鎮陶磁大学視察対応。10月の景德鎮国際陶磁博覧会への招待を受ける。その他UAE奨学金制度創設における折衝の実施	T1
<b>目標2</b> 研究生の安定確保と優秀な人財の育成及び修了後の制作環境の充実 修了生支援陶芸スタジオ開設準備と研究生の安定確保	1. 研究生の安定確保及び人財育成 ①継続的な人財育成事業実施に向けた中長期ビジョンの策定 ②デザイン・技術コース研究生20名、ラボ通常選考研究生3名、外国人研究生3名の確保 ③コース毎の特色ある研修課程実施と職員のスキルアップ ④美術館等専門機関との連携による新規事業「Ishoken展」開催に向けた調査及び情報収集 2. 修了生支援の強化 ①陶芸スタジオ施設整備の実施 ②陶芸スタジオ施設管理・運営方法の決定及び入所者の募集 ③雇用・定住促進奨励金、創作活動支援補助金の運用	1. ①陶磁器関連企業に意見聴取を実施し、中長期ビジョン（ラボ強化、国際交流の推進）を策定。②一次募集応募者57名（デザイン技術30名、ラボ通常12名、海外15名）、来年度入所者34名を確保 ③1年進級制作他10課題、2年卒制課題及び自主制作2課題、ラボ卒業制作の実施。職員研究発表8回実施 ④県現代陶芸美術館の合意を得、共催による来年度実施を決定。 2. ①②新たな候補物件を選定し、運営スキーム、要綱案を策定、物件所有者、篤志家との協議を継続中 ③修了生雇用・定住促進奨励金2件交付、4件認定。創作活動支援補助金1件運用、2件予定。工房バンク合計26件HP掲載。69部屋中66部屋が利用稼働中。 ※販売スペース（To Be! Ishoken）設置方針決定。	T2
<b>目標3</b> 新機器の活用による、陶磁器業界の積極的な商品開発の支援強化 方式の異なる3Dプリンターを用いた研究・受託業務の実施	①熱溶解積層法3Dプリンターの導入と市内事業者への案内 ②新商品開発や業界支援における新規プリンターの最適な活用方法を研究 ③市内事業者の訪問や情報収集を積極的に行い、次年度以降の業界支援のあり方を研究 ④3Dプリンターの技術相談・説明会等の随時実施 ⑤3DCADデータ作成等デザイン受託業務の迅速な実施 ⑥3Dプリンターや製造技術に係る先進事例の調査及び業界との情報共有 ⑦研究生向け3Dプリンター授業の実施	①7/1に導入、9/1から依頼受付開始。各種依頼に対し既存プリンターと併せてより効果的なプリンターを推奨。見本市等で具体的な活用事例をPR ②3種類のフィラメント素材（PLA, ABS, PETG）について比較、現況においてPLAが最適と判断 ③修了生が関わるふると納税返礼品開発企画のテストを開始 ④新規導入3Dプリンター説明会を実施、3DCAD講習会1件（1/7現在） ⑤3Dデータ作成及び出力82件、デザイン受託1件（1/7現在） ⑥市内事業者の海外有名デザイナー招聘企画への協力、ロードDG最新式バグ印刷の説明を受ける ⑦9月グラフィック基礎、10月3Dプリンター基礎、11月～デザイン実習を実施。0A室に研究生用3Dプリンターを整備	T3
<b>目標4</b> 安心安全な製品づくりの支援とその安定的な体制の構築 陶磁器製品の信頼性や安全性の向上とそれに資する東濃地域試験機関の連携	①東濃四試験機関の連携による試験機器の共同利用に関する体制の構築 ②料金改正に起因する受託方法の整理と適切な運用 ③鉛・カドミウム溶出試験2,250件、スボリング試験1,500件への安定・迅速対応。データの一元管理と担当職員の相互協力的体制の強化 ④東濃四試験研究機関技術者の相互連携による難易度の高い技術相談への対応力強化及び情報共有 ⑤安心・安全な製品作りに向けた欠陥原因、環境問題に係る法令等の研究生への授業実施	①年度未開催の協議会にて機器の相互利用・情報交換に関する覚書締結予定②依頼書及び測定書に市内・市外を明記することにより、適正な徴収を実施。新規利用者へは特に丁寧な説明を行った③鉛・カドミウムの溶出試験1538件、スボリング試験842件（12月末現在）。令和8年4月1日からの依頼書・結果通知書改正に合わせ、キャビネット上での一元管理体制構築済み④相談内容に合わせて、対応可能な研究機関を相互に紹介。四試以外の機関についても、対応可能かどうかの問合せを行い、その情報も随時共有 ⑤溶出問題に関する歴史と業界の努力に関する内容を加えた授業資料を作成。2月に1年生に向け授業実施	T3
<b>目標5</b> 業界団体等との連携の強化 業界及び関係機関との情報交換を強化	①陶磁器他産地（京都、石川、長崎）の市場状況や技術的課題、公設機関の施設状況等の調査 ②デザイン室や食器安全対策室等を活用した陶磁器関連情報の所内共有 ③東濃四試験研究機関協議会等、関係機関との連携・情報交換を実施し地域課題を所内共有 ④デザイン担当者会議、デザイン関連展示会等の視察を通じた最新情報の収集 ⑤地元陶磁器関連団体との良好な関係構築に向けた情報共有の推進	①信楽及び愛媛を訪問し、業界との連携や依頼試験対応、移転に係る計画・設計・業界への説明等について調査。調査結果は所内会議で報告 ②技術的な相談内容を、随時担当者間で情報共有。新規導入3Dプリンターの試験結果（印刷方式による特性、フィラメント適正等）について職員研究発表で共有 ③岐阜県研究発表発表会及び名工大と合同開催の四試研究結果発表会に参加。最先端の研究内容を所内に周知 ④デザイン担当者会議に参加、京都産業技術研究所職員の所内見学対応。インテリアリスタル東京、建築建材展を視察 ⑤高田、笠原、市之倉、多治見、滝呂地区の各陶磁器組合主催の陶祖祭、岐陶工連及び上絵加工工業組合の新年総会に出席し、親睦を図った。	T3